

FlexibleEntry Ver2.0の変更点は次の通りです

1. 追加機能および改善点

- ①API連携機能の追加
- ②マスタDBメンテナンス機能の追加
- ③検索結果のCSV出力機能の追加
- ④リスト形式の改ページ表示機能の追加
- ⑤その他改善

2. 不具合の改善

3. 注意事項

- ①クライアントPCの推奨環境
- ②様式作成における注意事項

1. 追加機能および改善点

①API連携機能の追加

外部で提供しているAPIを利用して連携する場合、開発なしでAPI連携のインターフェースや登録情報項目を設定して、自動連携で実施機能を追加しました。

様式作成担当は、様式登録機能に追加されたAPI様式の登録機能を利用して、RESTのAPI連携における接続情報や接続パラメータを設定することができます。

API連携には、外部API連携と外部画面連携の2種類があります。

詳細は次の通りです。

- ・API様式登録画面にてAPI様式（外部API連携と外部画面連携）の設定
- ・API様式登録画面にて、API接続に必要な接続情報（URL等）、認証情報、リクエスト情報、レスポンス情報等を設定

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



- ・API連携時のリクエスト種類は、「パラメータURL埋込」、「パラメータJSON形式」、「申込情報JSON形式」のいずれかを選択可能
- ・ワークフロー編集画面において、APIタスク・タスク自動実行等の条件設定を可能
- ・様式の登録項目とAPI様式のリクエスト・レスポンスパラメータのマッピングを設定可能
- ・登録情報画面の「外部API連携」「外部画面連携」のボタンクリックによる情報連携を実施
- ・ワークフローの遷移によるAPIの自動連携
- ・ワークフロー画面のAPIタスクのクリックによる情報連携を実施

②マスタDBメンテナンス機能の追加

情報や様式の追加、画面制御や様式作成で必要となる各種マスタDB情報の設定ツールを提供することで、様式作成者自身によるマスタDB情報の設定・確認などのメンテナンスが可能となりました。詳細は次の通りです。

- ・ Windowsクライアントで動作するマスタDBメンテナンスツールを提供
(httpsプロトコル通信も対応)
- ・ 本ツールにより、マスタDB情報をExcel形式でダウンロードし、マスタDB情報の変更・追加内容をExcelに編集後に、本ツールによるアップロードによるメンテナンスを可能

③ 検索結果のCSV出力機能の追加

登録情報の検索結果一覧のお全件情報をCSV形式で出力する機能により、出力データによる各種レポート作成など、登録情報の利活用が可能となりました。詳細は次の通りです。

- ・検索結果一覧画面に新規ボタン「一覧CSV出力」を追加
- ・「一覧CSV出力」ボタン押下後、検索結果の全件レコードの検索結果画面の表示項目をCSVファイルに出力

④ リスト形式の改ページ表示機能の追加

リスト形式の情報について、改ページ表示機能を追加することにより、大量レコードの表示レイアウトの変更、画面の初期表示の改善を図りました。詳細は次の通りです。

- ・様式登録画面のリスト形式項目の改ページ有無、行数／ページを定義による登録情報のリスト形式照会を可能、行数／ページを変更して、再表示も可能

⑤ その他改善

◆ CSV出力設定の改善

- ・CSV出力ファイルの文字コード、改行コードの設定変更を可能

◆ ワークフロー描画の改善

- ・ワークフロー描画後の保存ボタンを上端の位置に移動
- ・直線を描きやすいように、ドラッグ幅の固定値を10に変更
- ・線のドラッグアンドドロップの始点・終点のドラッグだけでなく、全体ドラッグを可能

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



◆タスク管理機能の改善

- ・作業漏れを防ぐため、メインステータス完了時の未実施タスク有無のチェック実施とワーニングメッセージの表示
- ・差戻しのタスクについて、タスク一覧画面の左側に差戻しタスクアイコンを表示
- ・タスク履歴表示について、スキップタスク（未実施タスク）も表示対象
- ・タスク遷移時のメール送信について、既存の「タスク開始時にメール送信」に加え、「差し戻された時にメール送信」「ディスパッチ時にメール送信」「アラーム発生時のメール送信」の設定も追加

◆セキュリティ強化

- ・接続URLに利用会社コードの暗号化文字追加（マルチテナントサービス提供）

◆項目制御画面の改善

- ・項目制御の非活性、固定値、条件必須を選択時の制御先の候補について、該当様式の項目のみが選択されるように改善

◆対応OS／ブラウザの拡充

- ・クライアント環境 Windows 10 の追加対応
- ・標準ブラウザ MS Edgeの追加対応

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



2. 不具合の改善

- FE1.0_0001 : 部分一致検索の項目値に「. (ドット)」が含まれていると正しく検索しない不具合の改修
- FE1.0_0002 : セッションタイムアウト後、画面操作時のエラーメッセージ表示の改善
- FE1.0_0002 : 申込書アップロード機能を用いた項目値の削除対応の改善

3. 注意事項

①クライアントPCの推奨環境

- ・OS: Windows7以降
- ・ブラウザ : IE11、MS Edge、FireFox (Ver34以降)
- ・解像度 : 1280×1024以上

②様式作成における注意事項

クライアント側の画面描画性能を保つため、以下の標準範囲内で登録情報の様式作成を推奨します。下記の標準範囲を超えて業務を行う場合は、別途、性能のチューニングが必要となります。

②-1 様式作成の標準範囲

- ・タブ数は10個以内、様式全体の項目数は500個以内（セレクト項目は50以内）
- ・表形式（参照リスト含む）は10個以内（カラム数は合計で100以内）、表の行数の平均は50以内、最大は200行まで
- ・項目間制御（セレクト、固定値、非活性、条件必須）は50個以内（表内、表外含む）

②-2 登録情報の検索画面の標準範囲

- ・検索キーは10個以内（参照項目は5個以内）
- ・部分一致の検索キーは3個以内
- ・検索結果一覧の表示カラムは30個以内

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぎ、社会をつなぎ



②-3 様式階層の標準範囲

- ・様式階層は5階層以内（ツリー表示のオーダ数は100以内）

②-4 ワークフローの標準範囲

- ・メインステータスは10個以内
- ・タスクの総数は200個以内
- ・アラームの条件数は10個以内

②-5 権限ロールの標準範囲

- ・ロール数は10個以内